

- \* 米国本社リリース参考訳
- \* 公式リリースは[P & G米国本社サイト](#)をご覧ください。

## P & G 2023/24 事業年度 第1四半期(7-9月期)業績

第1四半期米国会計基準：純売上高6%増、希薄化後1株当たり純利益17%増の1.83ドル

第1四半期中核業績：本源的売上高7%増、1株当たり中核利益17%増の1.83ドル

2024事業年度通期の本源的売上高と1株当たり純利益の見通し範囲を維持

2023年10月18日 米国シンシナティ発

ザ・プロクター・アンド・ギャンブル・カンパニー(NYSE:PG)は、2024事業年度第1四半期の純売上高が、前年同期と比べ6%増の219億ドルであったと発表しました。事業の買収・売却の影響と為替レートの影響を除いた本源的売上高は、7%増加しました。希薄化後1株当たり純利益は、前年同期と比べ17%増加して1.83ドルになりました。

当四半期の営業キャッシュフローは49億ドルで、純利益は46億ドルでした。営業活動によるキャッシュフローから設備投資支出とその他いくつかの項目を差し引いた調整済フリーキャッシュフローが、純利益に対して占める割合である調整済フリーキャッシュフロー生産性は97%でした。当社は、約23億ドルの配当金、15億ドルの自社普通株式の買い戻しにより、合計38億ドルを株主の皆様に戻元しました。

単位：十億ドル、ただし1株当たりの数値を除く

第1四半期(7-9月期)							
米国会計基準	2024年度	2023年度	%増減	会計基準外*	2024年度	2023年度	%増減
純売上高	\$21.9	\$20.6	6%	本源的売上高	—	—	7%
希薄化後1株当たり利益	\$1.83	\$1.57	17%	1株当たり中核利益	\$1.83	\$1.57	17%

\* 定義と、その関連のある米国会計基準上の指標との差異説明は、添付書類1：米国会計原則で規定されない財務指標をご参照ください。

取締役会会長、社長兼最高経営責任者(CEO)ジョン・モーラーは、「当社は、2024事業年度第1四半期において、本源的売上高と中核利益の通期目標の範囲の上辺を達成する勢いで、好調な業績を達成しました。当社は、その性能により消費者が使用するブランドを決定している日用品カテゴリーの製品への集中や(製品、パッケージ、ブランドコミュニケーション、市場への展開、ならびに、消費者と得意先への付加価値にわたる)優位性、生産性の向上、建設的な破壊、柔軟で責任ある組織の形成という統合的な戦略の実行に、引き続き専念していきます。P & Gのチームがこの戦略を実施することで、当社は、力強い勢いを築き、維持していくことができます。当社は、これらが、引き続き、バランスの取れた成長を達成し、付加価値を生み出すための正しい戦略だと確信しています」と述べています

## 7-9月期について

2024 事業年度第 1 四半期の純売上高は、前年同期比 6%増の 219 億ドルでした。不利な為替レートは、売上高の増加に 1%の悪影響を及ぼしました。事業の買収・売却の影響と為替レートの影響を除いた本源的売上高は、7%増加しました。本源的売上高の増加は、価格改定の 7%増、有利な製品ミックスの 1%増によりもたらされ、販売数量の 1%減により一部相殺されました。

2023年7-9月期	販売	為替	価格				本源的	本源的
純売上高増減要因(1)	数量	レート	改定	ミックス	その他(2)	純売上高	販売量	売上高
ビューティー事業	—%	-3%	7%	-2%	1%	3%	—%	5%
グルーミング事業	-2%	-3%	9%	1%	1%	6%	-2%	9%
ヘルスケア事業	2%	1%	6%	2%	—%	11%	2%	10%
ファブリック& ホームケア事業	-1%	-1%	8%	1%	1%	8%	—%	9%
ベビー、フェミニン& ファミリーケア事業	-3%	-2%	8%	2%	—%	5%	-3%	7%
<b>P &amp; G 全体</b>	<b>-1%</b>	<b>-1%</b>	<b>7%</b>	<b>1%</b>	<b>—%</b>	<b>6%</b>	<b>-1%</b>	<b>7%</b>

(1) これらの純売上高に係る増減割合は、継続的に適用している計算方法に基づく概算値です。

(2) その他には事業の買収・売却による売上ミックスの影響、販売数量と純売上高との差異分析に欠かせない端数処理が含まれています。

- ビューティー事業セグメントの本源的売上高は、前年同期と比べ 5%増加しました。スキン&パーソナルケア部門の本源的売上高は、価格改定と製品革新による販売数量の増加が、「SK-II」の減少による不利なミックスで一部相殺され、一桁台前半の増加となりました。ヘアケア部門の本源的売上高は、主に価格改定により、一桁台後半の増加となりました。
- グルーミング事業セグメントの本源的売上高は、価格改定と有利な製品ミックスが、価格改定に関連する販売数量の減少により一部相殺されて、前年と比べ 9%増加しました。すべての地域で、本源的売上高が増えました。
- ヘルスケア事業セグメントの本源的売上高は、前年と比べて 10%増加しました。オーラルケア部門の本源的売上高は、価格改定と有利な製品ミックスにより、一桁台後半の増加となりました。パーソナルヘルスケア部門の本源的売上高は、製品革新、および、呼吸器疾患製品の力強い需要による販売数量の増加と、価格改定を理由に、二桁台の増加となりました。
- ファブリック&ホームケア事業セグメントの本源的売上高は、前年に比べ 9%増加しました。ファブリックケア部門の本源的売上高は、価格改定と有利な製品ミックスによる効果が、主にアジアにおける販売数量の減少で一部相殺されて、一桁台後半の増加となりました。ホームケア部門の本源的売上高は、価格改定とプレミアム製品起因の有利な製品ミックスの改善により、10%台前半の増加となりました。

- ベビー、フェミニン&ファミリーケア事業セグメントの本源的売上高は、前年と比べ7%成長しました。ベビーケア部門の本源的売上高は、価格改定と有利な製品ミックスによる効果が、価格改定に関連する販売数量の減少で一部相殺されて、一桁台半ばの増加となりました。本源的売上高は、すべての地域で増加しました。フェミニンケア部門の本源的売上高は、価格改定と有利な地域ミックスと製品ミックスによる効果が、価格改定に関連する販売数量の減少で一部相殺され、一桁台後半の増加となりました。すべての地域で、本源的売上高が増えました。ファミリーケア部門の本源的売上高は、価格改定による効果が、大型サイズに起因する不利な製品ミックスで一部相殺されて、一桁台半ばの増加となりました。

## 2024 事業年度通期の見通し

P & Gは、2024 事業年度通期のすべてを含めた純売上高が前年度比 2~4%の範囲で増加するとの見込みに修正しました。為替レートは、純売上高の増加に対し、約 1~2%の悪影響を及ぼすものと予想されます。当社は、本源的売上高が 4~5%の範囲で増加するとの見通しについては維持しました。

## P & Gについて

P & Gは、高い信頼と優れた品質で、市場をリードする製品ブランドを世界中の人々にお届けしています。それらのブランドには、オールウェイズ®、アンビピュア®、アリエール®、バウンティ®、シャーマン®、クレスト®、ドーン®、ダウニー®、フェアリー®、ファブリーズ®、ゲイン®、ジレット®、ヘッド&ショルダーズ®、レノア®、オレイ®、オーラルB®、パンパース®、パンテーン®、SK-II®、タイド®、ヴィックス®、ウイスパー®などが含まれます。P & Gは約 70 カ国に現地事業拠点を置き、世界的に事業を展開しています。P & Gとその製品について、最新の詳しい情報は、米国本社ホームページ <https://us.pg.com> (英語) をご参照ください。その他のP & Gのニュースについては、<https://us.pg.com/blogs> (英語) をご参照ください。